

# 令和7年度（2025年度）ネブラスカ大学オマハ校集中語学プログラム I L U N O 受講生再募集要項

本学との大学間交流協定校であるアメリカ合衆国ネブラスカ大学オマハ校の集中語学プログラム（I L U N O）の受講学生を下記のとおり再募集します。

## 記

### 1 対 象

本学の学部生または大学院生のうち、英語の学習意欲があり、健康である者。また、外国籍の学生の場合、米国ビザ取得の可否により派遣できないことがあります。

### 2 受講期間

①~~2025年5月12日から8月15日~~      ②2025年8月25日から12月12日

③2026年1月上旬から4月下旬（予定）

※申請スケジュール及び派遣先大学寮へ入寮する都合から②、③のみ受講生を募集します。

### 3 費用

受講期間①②③の各期間5名まで、正規授業料\$4,086に対して50%の割引が受けられます。  
授業料のほかには、大学諸費用、教材費、保険費、寮費、食費等で約\$9,000、渡航費、個人的なお小遣い等も別途かかります。

### 4 応募資格

原則、以下いずれかの英語試験のスコアを満たす者

TOEFL iBT 15-25、TOEFL ITP 400、TOEIC L&R 380、IELTS 3.5-4.0、英検2級

※上記英語試験のスコアを持っていない方はご相談ください。

### 5 応募方法及び申込先

応募書類：① I L U N O 派遣希望調書

②最新の成績通知書

③語学試験の成績証明書の写し

I L U N O 派遣希望調書の「国際交流委員会委員氏名、確認印」の欄には、所属学部の国際交流委員の署名・押印が必要です。委員等の先生方へは、事前に電話かメールでアポイントメントを取ってから訪問してください。なお、諸事情により応募期限までに署名・押印をいただけない場合は、委員にメールで了解を得てください。そのメール文は、印刷して他の応募書類と一緒に提出してください。

#### 【令和6年度国際交流委員等】

学 部 名	教 員 名	連 絡 先
人文社会科学部	中本 義彦	(054-238-4275 nakamoto.yoshihiko@shizuoka.ac.jp)
教育学部	後藤 友香理	(054-238-4646 goto.yukari@shizuoka.ac.jp)
情報学部	高口 鉄平	(053-478-1584 t-koguchi@inf.shizuoka.ac.jp)
理学部	藤原 健智	(054-238-4776 fujiwara.taketomo@shizuoka.ac.jp)
工学部	宮崎 さおり	(053-478-1634 miyazaki.saori@shizuoka.ac.jp)

農学部	王 権	(054-238-3683 wang.quan@shizuoka.ac.jp)
地域創造学環	水谷 洋一	(054-238-4280 mizutani.yoichi@shizuoka.ac.jp)
グローバル共創科学部	チョ Chol 明子	(054-238-3717 chochol.akiko.a@shizuoka.ac.jp)
創造科学技術大学院	脇谷 尚樹	(053-478-1153 wakiya.naoki@shizuoka.ac.jp)
光医工学研究科	佐々木 哲朗	(053-478-3264 sasaki.tetsuo@shizuoka.ac.jp)

派遣希望調書入手先：国際連携推進機構 HP「在学生の方へ/留学プログラム/留学の流れ」

<https://www.suoic.shizuoka.ac.jp/student/study-abroad-flow/>



応募方法：Step1. 下記申込フォームより、I L U N O 派遣希望調書を提出してください。

※フォームへ提出する派遣希望調書へは指導教員及び国際交流委員の署名は不要。

Wordで入力したものをPDFデータにして提出してください。

申込フォーム：<https://forms.office.com/r/CN1sKfYCpx>



Step2. 指導教員及び国際交流委員の署名が入った派遣希望調書及び応募書類②③を下記申込先へ提出してください。

申 込 先：国際課国際交流推進係（静岡）[共通教育 A 棟 4F]

浜松学生支援課留学生係（浜松）[S-port1F]

提出期限：受講期間②、③のみ提出期限を下記のとおり延長します。

~~令和7年1月27日（月）17:00 厳守~~ **令和7年2月19日（水）17:00 厳守**

※応募書類受理後、国際連携推進機構教員が面談のうえ派遣を決定します。

## 7 その他

- (1) I L U N O の詳細はネブラスカ大学オマハ校 HP (<https://www.unomaha.edu/international-studies-and-programs/iluno/index.php>) を参照してください。
- (2) 本件に関する連絡事項は、原則として申請書に記載したメール宛に連絡するので通知を見逃さないでください。また、返信が必要な場合は速やかに返信してください。
- (3) 国際課が実施する渡航前ガイダンス（複数回）及び海外渡航危機管理ガイダンス、事後報告会は必ず参加してください。
- (4) 「4 応募方法及び申込先」に記載した国際連携推進機構HP「留学の流れ」を参考に、留学に際して発生する本学、留学先、査証申請等の手続は自らの責任により行ってください。
- (5) 受入決定後、犯罪・トラブル等不測の事態に備えるため、海外医療保険（救済者費用を含む）と危機管理サービスがセットになった日本エマージェンシーアシスタンス株式会社が提供する OSSMA Plus (Overseas Students Safety Management Assistance Plus) に必ず加入してください。OSSMA のサービスについては以下のページを参照してください。  
国際連携推進機構HP 海外留学前の手続き 「OSSMA について」  
<https://www.suoic.shizuoka.ac.jp/student/procedures-before-studying-abroad/>
- (6) 帰国後は留学経験者として本学の留学推進活動に協力願います。

(7) 本プログラムで留学中の学籍は「留学」または「休学」となります。主な違いは以下のとおりです。いずれの手続きも所属学部の学務係等で行ってください。

#### 【休 学】

留学中は静岡大学へ授業料を納める必要はありません。ただし、留学期間が卒業年数に含まれませんので、休学した分卒業が遅れます。

#### 【留 学】

留学中は静岡大学へ授業料を納める必要があります。留学期間が卒業年数に含まれますので、4年間（修士課程2年間、博士課程3年間）で卒業したい場合は、留学前後にできるだけ所要単位を修得するなど、入念な準備をしてください。

※学部によっては4年間（大学院生2年または3年）での卒業が難しい場合がありますので、事前に所属学部の学務係等へご相談ください。

I L U N O受講により静岡大学の授業を欠席する場合、3回まで公欠と認められる可能性があります。公欠として認められるかは授業によって異なるため、受講予定の授業担当教員に事前に確認してください。

#### (8) 問合せ先

国際課 国際交流推進係 [共通教育A棟4F (静岡)]

電話：054-238-4457

メール：outbound@adb.shizuoka.ac.jp

#### (9) H P、S N S フォロー等のお願い

海外留学を目指す学生のみなさんのために国際連携推進機構 HP、公式 LINE 等で留学に関するイベント及び必要な情報を随時更新しています。海外留学に興味がある方はぜひフォロー等していただき、学習計画にお役立てください。

国際連携推進機構 HP



公式 LINE

